

夏休み宿題応援ブックトーク

1 活動の概要

図書館と博物館が共催で、子どもの興味関心に合わせた夏休みの課題支援を行っています。図書館職員が、夏休みの調べ学習支援に重点を置いた選書のブックトークを行い、博物館職員は関連する事柄の解説等を行います。

会場には調べ学習に役立つ本を100冊以上展示し、イベント終了後に貸出をします。



図書館職員による
ブックトーク

2 活動の状況、実際

学校の協力を得てチラシを配布してもらったことで、受付開始から3日で定員に達することとなりました。図書館と博物館それぞれを会場にし、内容を変えて2日間実施。延べ68人の参加がありました。

令和6年度のテーマは、「海」。海に関する様々な本や、漂着物、魚の標本などの実物をお見せしました。また、図書館会場ではオンラインで博物館の展示紹介をし、博物館会場では、動画で図書館紹介をしました。



博物館学芸員による
展示紹介（オンライン）

3 参加者、指導者等の声

【担当者から】

ブックトークに加えて学芸員さんの解説や実物資料があることで、子どもたちは本により興味を持つようです。保護者の方も一緒に参加することで、家族みんなで本を読んだり、調べものをしたりするきっかけになるのだと感じました。（図書館）

夏休み期間中ということもあり、両会場ともに参加される方が数組いらっしゃいました。親子で博物館に興味をもっていたいたり、親子での博物館来館につながる事業となりました。（博物館）



【参加者から】

（紹介した本について）この本を持っていれば、プラスチックのかわさについて忘れた時、読んだら分かる！と思った。本がみんな面白く感じた。（小学生）

普段ゆっくり本を選んだり夏休みの宿題について考える機会が無いので、とても貴重な時間でした。地元の海のお話が聞けて勉強になりました。海に行く機会がより楽しみになりました。（保護者）